



フィトンチッド(森の精)

Phytoncide

機関紙

「フィトンチッド」第14号

2026年2月発行

総天然色のNPO活動写真集！「かねやま電雪HPなどから」

☆金山中学校1年生の総合授業の様子☆☆部活室での発電設備工作☆☆荒屋橋脇の排水路で発電実験☆



☆☆主な活動等☆☆

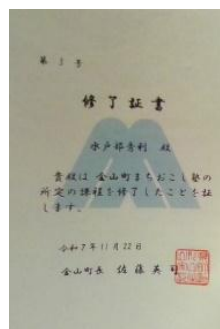
- 7月26日 金山中学校1年生による水力発電実験企画の発電設備を金中の部室にて組み立てました。教頭先生家族なども見学しました。
- 8月23日 改善センターにて第2回理事会を開催しました。
- 9月6日 「思い出の昭和展示室」にて小沼家が20人程の会合を開きました。神室音楽祭(家族応援団・宿泊6名)
- 9月28日 「秋の自然に親しむ活動」を開催しました。
- 10月12日 金山町産業まつりに参加しました。発電装置などを展示
- 11月23日 改善センターにて事務局打合せを行いました。
- 12月28日 改善センターにて第3回理事会を開催しました。
- 1月26日 改善センターにて事務局会議を開催しました。



☆産業まつり出店
発電設備など
展示と説明☆



あいにくの雨



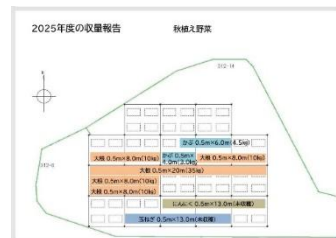
☆まちおこし塾☆
NPOからは
柴田清正・水戸部秀利
両理事がめでたく
修了しました。

まちおこし塾 全8回を開催
受講者が町に事業を提案



▲まちおこし塾を受講した町民10名と講師

10月3日から8回にわたり「金山町まちおこし塾」を開催し、20代から80代までの町民が参加しました。塾では、日本技術士会「なりわい支援ワーキンググループ」の3名を講師に迎え、町の資源を掘り起こし、課題を分析しました。11月22日には、受講者が町に事業提案を行い、正野悦雄さん(上台)は「多くの学びと発見があった。観光でさらに町を盛り上げていきたい」と、観光事業や関係人口の創出に向けた提案を行いました。



♡♡ ☆「ふるさと里山便」の贈答用に雪室にて保存です。☆



これからの 金山町全域においての
伝説！ 再工ネ地産地消を目指します！



特定非営利活動法人
かねやま電雪

999-5401 山形県最上郡金山町大字有屋312
事務局 Tel 080-2303-3763(小沼・丹・五十嵐)
mail kaneyama.densetu@gmail.com
http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/



NPO かねやま電雪理事（かねやま小水力発電推進協議会会長） 水戸部

NPO かねやま電雪は、金山川水系での小水力発電の可能性を模索してきました。

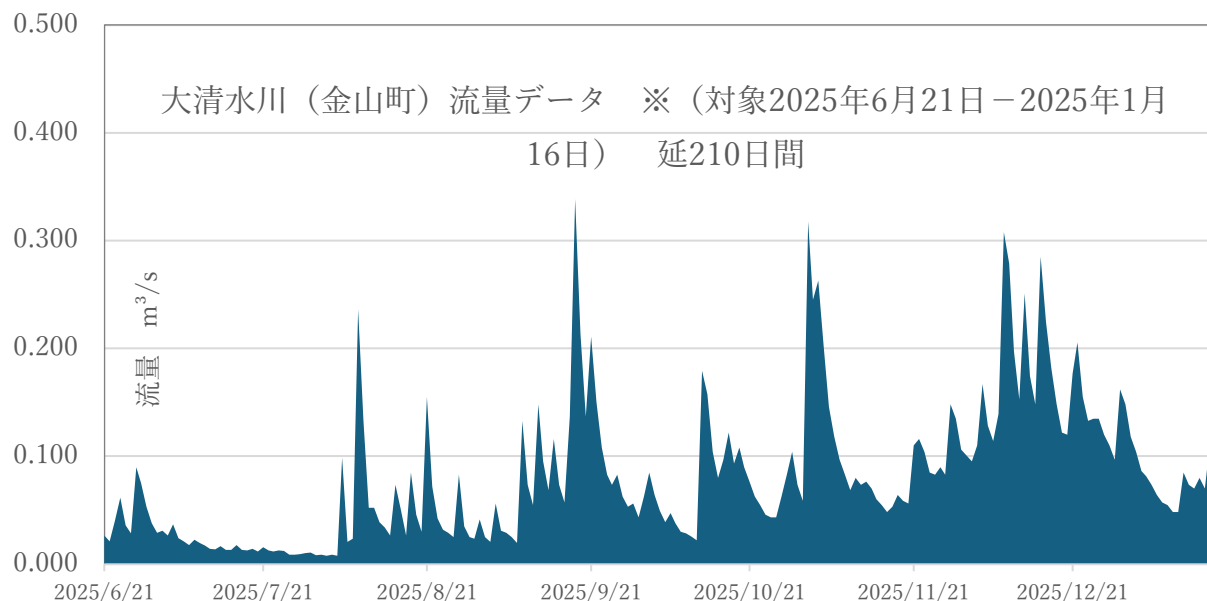
その候補であった神室スキー場横の大清水川について、流域面積から算定された水量（0.088～0.187 m³/s）と落差（35m）から約40KWの出力が期待でき、年間900万前後の売電収益が見込まれ、事業化の可能性があるという判断が2024年に専門家から提起され、県としても支援の意向が示されました。

それを受けて金山町も、2024年10月28日に「かねやま小水力発電推進協議会」を立ち上げ、その会長を理事の水戸部とし、その具体化推進母体をNPOかねやま電雪が担うことにしました。

NPO理事会は2025年5月の総会で、実際に水量測定を発注することを確認しました。河川法の認可手続きや県の補助申請を行い、2025年6月から水量測定を開始しました。写真は設置した測定機材と実測している写真です。なお日々の水量は機械が自動測定します。

2026年1月に約半年間の測定の間接報告を最上自然エネルギー株式会社から受けました。下のグラフは、日々の水量の推移です。昨年の夏の異常渇水も現れています。このデータを専門的な処理をして発電可能な水量を計算します。その計算経過は省きますが、結論は当初流域面積から推測された水量の1/2～1/3しか流れていないという結果でした。これは渇水要因だけでなく、この流域での岩盤など浸透水が予想以上に多いためと考えられます。

現時点では、残念ながら事業化は難しいという評価でした。最終的には、後半の冬季や融雪期含めた1年間のデータを確認して結論をだすこととなります。



👉 2026年2月28日午後、下記のように「NPOかねやま電雪」報告会を改善センターで行います。お誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

NPO かねやま電雪 報告会

金山の資源を生かせないか？ 7年半の挑戦から

2018年8月のNPOかねやま電雪発足から約7年半となります。この間、雪室、ソーラーシェアリング、小水力発電調査など試みてきました。「有屋の奥で何か変わったことをしている」とみている方も多と思います。今回改めて町民のみなさんにその内容を紹介し、ご意見をいただきたいと思いました。

温暖化・気候危機が迫る中、2022年に金山町もゼロカーボン宣言をし、町としてもその政策化に踏み出しました。私たちの活動もその流れの中にあると考えています。

多くの方々の参加とご意見をお願いします。

<主催：NPOかねやま電雪>

<http://kaneyamadensetu.kirakirahatuden.com/>



日時：2026年2月28日（土）13：30～16：00
場所：改善センター多目的ホール

プログラム（司会 阿部監事）

1. 開会あいさつ（小沼理事長）
2. かねやま電雪の7年半を振り返って（水戸部理事）
3. 金山町地球温暖化対策実行計画（環境整備課 黒沼）
4. 中田での太陽光発電の経験（栗田会員）
5. 意見交換
6. 閉会あいさつ（大場理事）



杉山四方にめぐらして
光しずけき
水清き町
どこみどり